

四日市市職員アンケートの結果

《調査概要》

1. 調査目的

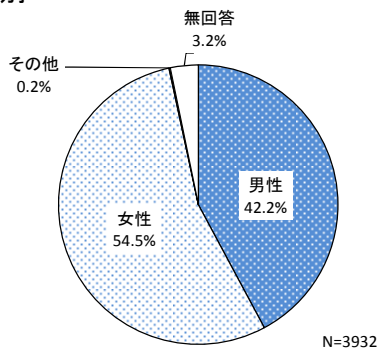
より良い市民サービスを提供するために、四日市市の全職員を対象にアンケートを実施し、業務、職場環境に関する意見を聴取することによって、オール市役所で新しい四日市市を創る風土づくりに活かすものとする。

2. 実施概要

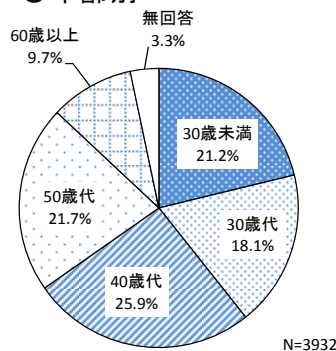
実施期間	平成29年8月1日～8月15日
実施対象	四日市市役所職員 4,226人 【回収件数】3,934人(93.1%) (一般職員 2,592、再任用職員 123、嘱託職員 296、臨時職員 800、無回答 123)
調査項目	(1) 職場環境について (2) 仕事への意識・行動について (3) ワーク・ライフ・バランスについて (4) 自由記述

3. 回答者の属性

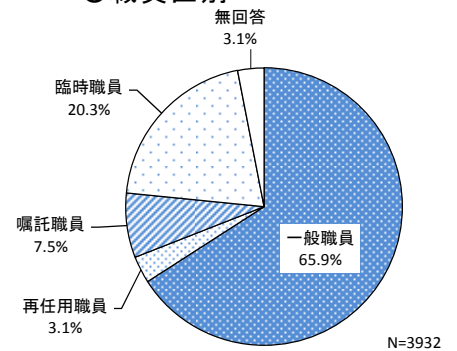
○性別



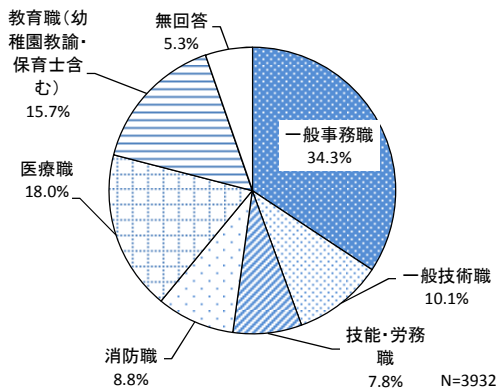
○年齢別



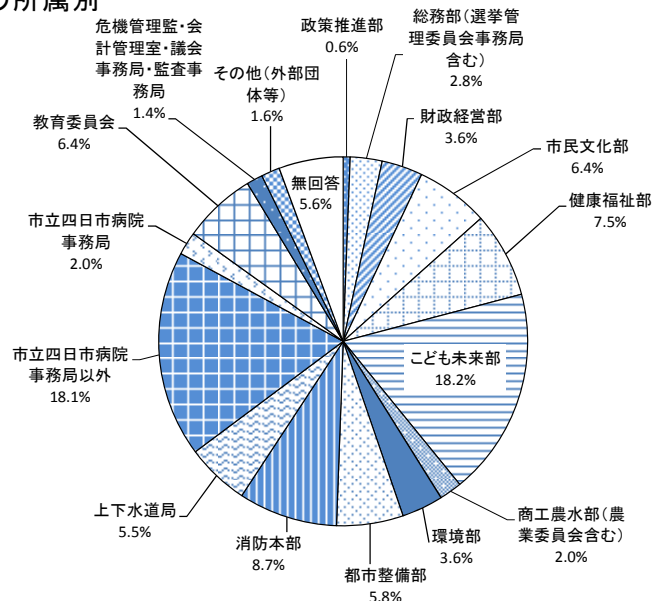
○職員区別



○職種別

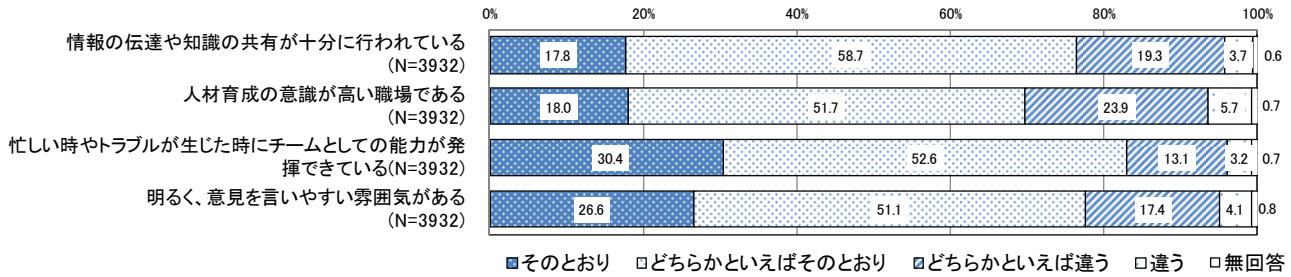


○所属別



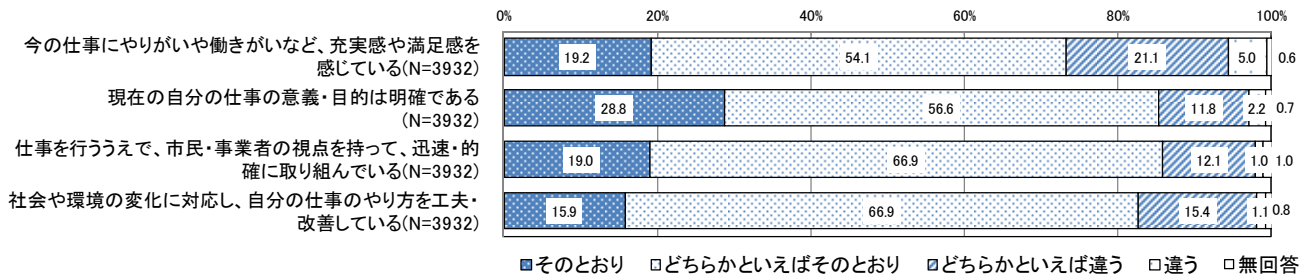
《調査結果》

1. 職場環境について



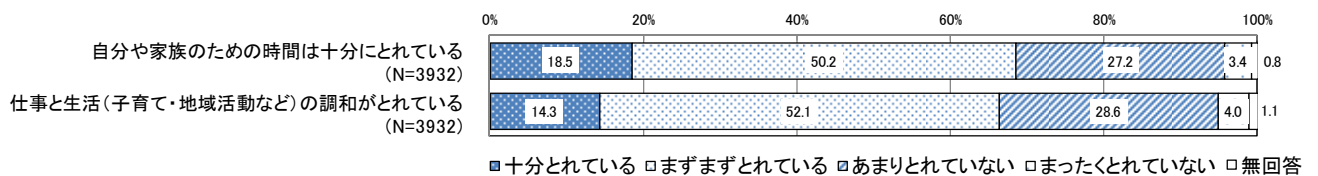
情報の伝達や知識の共有、人材育成、チームとしての能力発揮、意見を言いやすい雰囲気ができている職場環境になっているかという設問について、いずれも「そのとおり」「どちらかといえばそのとおり」が合わせて6割を超えた。「そのとおり」は、『忙しい時やトラブルが生じた時にチームとしての能力が発揮できている』で3割を超え、肯定的回答が多かった。一方、「どちらかといえば違う」は『人材育成の意識が高い職場である』で唯一2割以上となった。

2. 仕事への意識・行動について



やりがい、意義・目的、市民・事業者の視点を持つ、工夫・改善といった仕事への意識・行動ができているかという設問について、いずれも「そのとおり」「どちらかといえばそのとおり」が合わせて7割を超えた。「そのとおり」は、『現在の自分の仕事の意義・目的は明確である』で3割弱と肯定的回答が多かった。一方、「どちらかといえば違う」は『今の仕事にやりがいや働きがいなど、充実感や満足感を感じている』で唯一2割以上となった。

3. ワーク・ライフ・バランスについて



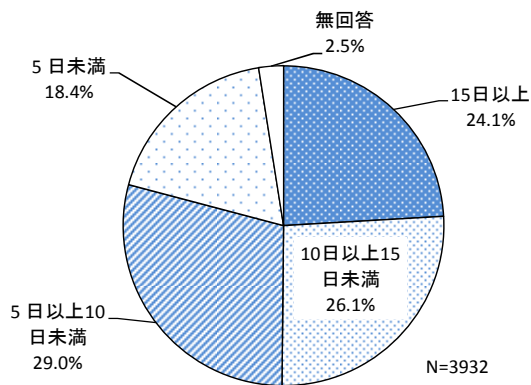
十分な自分や家族のための時間や仕事と生活の調和といったワーク・ライフ・バランスがとれているかという設問について、いずれも「十分とれている」「まずまずとれている」が合わせて6割を超えた。年齢別では、30歳代、40歳代、50歳代の中間年代が自分や家族のための時間がとれていないと感じている人が多い傾向が見られる。また職員区別では、一般職員が他の職種よりも自分や家族のための時間がとれていないと感じている人が多い。

<年休取得日数について>

年間の年休取得日数については、「5日以上10日未満」が29.0%で最多、以下「10日以上15日未満」26.1%、「15日以上」24.1%と、上位3位は僅差で続いた。

年齢別では、年齢が高くなるほど年休取得率が高く、60歳以上では4割弱が15日以上の年休を取得している一方で、30歳未満は1割強にとどまっている。

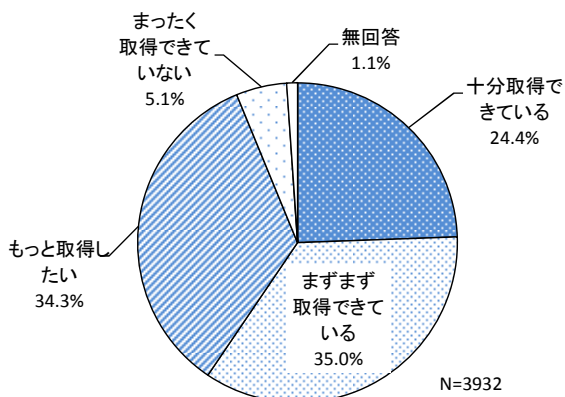
また職員区別では、一般職員は「5日以上10日未満」が3割半ば、「5日未満」と合わせて「10日未満」が6割弱を占めた。



<休暇の取得について>

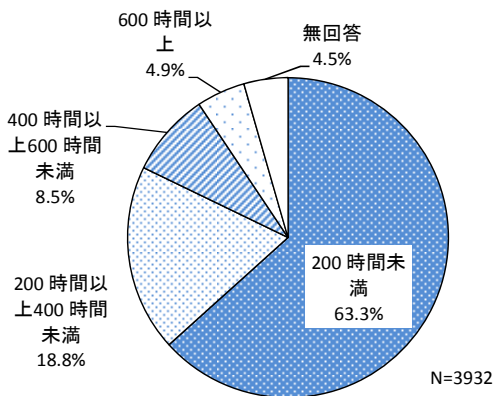
休暇の取得状況については、「十分取得できている」「まずまず取得できている」が合わせて約6割となった。

職員区別では、再任用職員と嘱託職員は「まずまず取得できている」が4割以上、臨時職員は「十分取得できている」が4割半ばを超えているのに対し、一般職員は「もっと取得したい」が4割台となった。



<年間の時間外労働について>

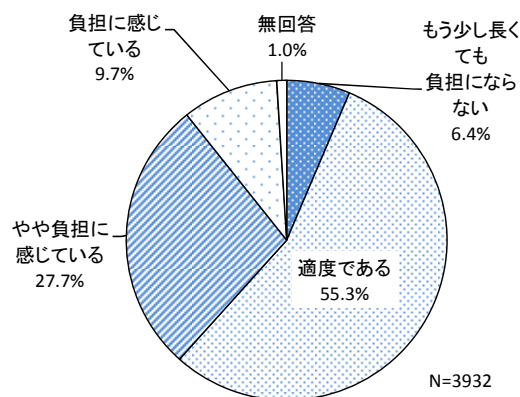
年間の時間外労働時間については、「200時間未満」が63.3%で6割強を占め、以下「200時間以上400時間未満」18.8%、「400時間以上600時間未満」8.5%と続いた。



<現在の自身の総労働時間について>

現在の総労働時間については、「もう少し長くても負担にならない」「適度である」が合わせて6割を超えた。

年齢別では、「やや負担に感じている」は30歳未満、40歳代で3割を超えている。



4. 自由記述

(15)ワーク・ライフ・バランスについてその理由や改善など自由にご記入ください（上位5項目 総数 1,446 件）	
1 休暇取得 （メモリアル休暇など年休取得促進策、臨時職員の時間休導入等）	332 件(23.0%)
2 人員不足	247 件(17.1%)
3 職場環境 （風通しの良い職場、チームワーク、サポート・フォロー体制等）	146 件(10.1%)
4 職員配置 （適正な人員配置、適材適所の人事異動等）	135 件(9.3%)
5 勤務時間 （時差勤務など多様な働き方等）	111 件(7.7%)

(16)四日市市が力を入れていく必要があると思う施策、他の自治体で参考になる施策、市民・事業者目線でみて、新たに採り入れるとよいのではと思う施策など、理由とともに記入してください（上位5項目 総数 1,091 件）	
1 インフラ整備 （駅周辺整備、道路の渋滞緩和、公共交通の充実等）	256 件(23.5%)
2 子育て支援 （保育園の充実、保育士の確保、妊産婦支援等）	201 件(18.4%)
3 市役所の仕組み改善 （総合窓口、ICTによる業務効率化等）	198 件(18.1%)
4 教育 （幼稚園へのエアコン設置など施設・設備の充実、中学校給食の実施等）	85 件(7.8%)
5 市のPR、ふるさと納税 （地元産品の市外へのPR・ふるさと納税の返礼品としての活用等）	79 件(7.2%)

(17)今後、事業のやり方を大きく見直した方がよい施策、あるいは止めてもよいと思う施策があれば、理由とともに記入してください（上位5項目 総数 620 件）	
1 子ども子育て （幼稚園のエアコン設置、保育運営・入所制度、保育園の主食代見直し等）	87 件(14.0%)
2 ファミリー音楽コンクール （賞金の見直し、波及効果の検証等）	69 件(11.1%)
3 市役所組織 （業務の効率化に向けた組織の再編等）	47 件(7.6%)
4 下水、道路 （施設の長寿命化、計画的な維持保全等）	31 件(5.0%)
5 観光、プロモーションその他 （まつりの運営・花火の開催などイベントの見直し等）	28 件(4.5%)

(18)JIMO キャラ総選挙2017初栄冠・紅白歌合戦初出場など活躍している「こにゆうどうくん」のような、新たなシティプロモーションのアイデアを提案してください (上位5項目 総数 636 件)	
1 ゆるキャラ(こにゆうどうくん他) (こにゆうどうくんのフリー利用、You Tube での配信など利活用の拡大等)	191 件(30.0%)
2 イベント (フルマラソンなどスポーツイベント、B1グランプリなどグルメイベント等)	52 件(8.2%)
3 メディア活用 (テレビへの露出、四日市を舞台とした作品等)	33 件(5.2%)
4 コンビナートや工場夜景 (工場夜景の更なる活用、工場見学、ナイトマラソンなどとのコラボ等)	28 件(4.4%)
5 暮らしやすい街づくり、産業、伝統、文化、スポーツ関連 (旧東海道の活用、地元企業とのコラボによる商品開発等)	28 件(4.4%)